廃棄物処理業者の皆様へ

今年の 11 月 25 日から 12 月 3 日の 9 日間、渋谷駅と 2 階連絡通路で直結の『渋谷ヒカリエ』にて、水俣病 70 周年展が開催されます。お陰様で開催資金、会場確保、ボランティアの参加など多くの方々の協力で開催に向けて万全の体制で対応しております。チラシに示されるように、日本、世界の公害の原点であり、個人的には環境分野を職としエックス都市研究所の環境分門の立ち上げ以降の 60 年の契機となったのが学生時代に足掛け 2 年、通期で 1 年の水俣現地での患者家族宅での住込みでの漁業従事したことでした。水俣病、四日市喘息などの 4 大公害を経て 1971 年の公害国会、環境庁の設置を契機に環境施策の展開があり、また、廃棄物処理業の成立、業容の充実が図られたことにも繋がったものです。この水俣展の初回は公式認定 40 周年に品川副都心ができる前に旧国鉄操作場跡地を清算事業団から借受け、整地、大規模テントでの展示、水俣から航行してきた打たせ舟日月丸の現地敷設などの大事業で成功裏に終えることができました。

主催者である認定 NPO 法人水俣フォーラムはこの時の展示物、映像などの資産を引き継ぎ、水俣の教訓を引き継いでいくことを目的に設立され、以来 30 年間、品川開催を含めた開催で総計 17 万人の来場を迎え、今回のヒカリエ開催に至りました。

これまでの 30 年間でも、多くの処理業界、環境関連企業の皆様にも、多大な協力を賜りましたが、今回は特に環境、廃棄物処理業界の今日に大きく影響した水俣病を若い世代の方々に知って頂く機会の拡大に協力頂きたく、お願い申し上げる次第です。

エックス都市研究所　名誉顧問　青山俊介